

那珂川市図書館

オススメの1冊

『教養としての「国名の正体」』

藤井 青銅／著 柏書房 一般書【290.1 フジ】

昔、愛猫の名が遠い異国の地、トルコの言葉で「食いしん坊」を意味すると知りびっくりした記憶がある。まったく違う経緯から付けた名が、まさかの「名は体を表す」だとは。まえがきと同じような言葉を見つけ、ついつい手に取ってしまった本書『教養としての「国名の正体」』だが、国名もまた「名は体を表す」のだそうだ。

国の名はしばしば省略して覚えられがちだが、皆さんは正式名称をご存知だろうか。スペインは「スペイン王国」であり、ロシアは「ロシア連邦」、イギリスは「グレートブリテン及び北アイルランド連合王国」である。国名で体制をアピールする国もあれば、子牛が由来の「イタリア共和国」、大地が終わるところを指す「チリ共和国」、原住民との誤解で生まれた「カナダ」など、地理・動植物名・人名由来等さまざまだ。「アメリカ合衆国」のアメリカが実は人名由来だということもはじめて知った。では「日本」は？

今年は何といってもオリンピックイヤーだ。これから様々な場所で、様々な国名を聞く機会があることだろう。そんな時に国柄を知る一助として、国名の正体を探ってみてはいかがだろうか。

那珂川市図書館司書（ぐり）